

「新発田市多文化共生推進指針（案）」に対する意見の内容と市の対応

新発田市多文化共生推進指針（案）に関するパブリックコメントに寄せられたご意見及び当市の対応は以下のとおりです（誤字のご指摘については、以下の表では割愛しておりますが、修正させていただきます。）。いただいたご意見を掲載するにあたり、内容を一部要約している場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ページ番号は意見募集時の資料に基づいています。

No.	該当ページ	該当箇所	意見の概要	市の対応	修正
1	14	写真下	写真の説明を入れた方が良い。	ご意見を踏まえ、写真の説明を追加します。	有
	16	図表	図表の文字が小さいので大きくした方が良い。	ご意見を踏まえ、図表を大きく掲載します。	有
2	10	—	多文化共生の推進を、外国人住民が日本に馴染むこと（同化）のように受け止められないよう、もう少し工夫したい。施策体系の観点でまとめると、外国人住民向けの話と日本人住民向けの話が混在してしまうので、意外とわかりにくい。日本人住民側も一歩踏み出すのだ、ということを示せないだろうか。例えば、第3章の「1.基本理念」で、それぞれの住民への呼びかけのようなものを入れられないか。	ご意見を踏まえ、基本理念の説明部分に以下文章を追加します。 「そのためには、外国人住民の生活支援だけでなく、日本人住民の意識醸成も必要不可欠であることから～」	有
	—	—	Jスクール及び新発田日本語教室といったボランティア団体が、常に存在する団体のように書かれていることに違和感がある。近年、市レベルの国際交流協会が存続できず解散する事例もある。団体に対する「支援」だけでなく「このようなしくみの維持」も含まれると望ましいと思う。	ご意見を踏まえ、日本語に関する課題及び基本施策に「団体との連携体制の維持」の観点も含めます。	有
	13	6	①やさしい日本語の普及、②日本語教育の推進、の順番が良い。地域の共通語は「やさしい日本語」なので、日本人住民もそれを使えるようになろう、という話を先にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、順番を入れ替えます。	有
	9	(6)	日本語教育に関しては「新潟県における日本語教育の推進に関する基本的な方針」が今後出るため、県の方針との兼ね合いも一言、あるといいかもしれない。	ご意見を踏まえ、日本語教育においては今後の県の方針とも整合性を計りながら推進していく旨を追記します。	有

No.	該当ページ	該当箇所	意見の概要	市の対応	修正
	—	—	今後、企業進出などで外国人数が100人単位で増加すると、一地域で外国人コミュニティが形成される可能性がある。受け入れた企業と自治体また地域住民とのお互いのより深い理解と対応が求められると考える。	当市としましても、就労目的等で外国人の増加が見込まれる中で、受け入れ企業や地域住民と外国人住民との理解促進は非常に重要であると考えております。	無
	7	(1)	生活に関する課題:実習生のさらなる増加を考えると実習生に日本語を習得してもらうだけでなく、その国の言語、文化に理解のある市民を増やして交流を深める必要がある。	上記と同じく、当市としても、受け入れる側の他言語・異文化への理解や交流の機会は重要であると考えております。指針において、ご指摘の部分に同旨の記載はございませんが、「(4)多文化を身近にするための課題」や「(8)地域の担い手としての課題」の一つとして、同内容についてご説明しております。	無
	7	(2)	命に関する課題:外国人の災害時の支援の充実。今回の能登半島地震では、外国人に対する情報の不足、支援のずれ違いなど聞かれた。国によっては、出身国からの援助もあるので、これら支援を受け入れる体制を整えていただきたい。言葉の問題、生活支援で助けになる。	災害時の支援に関しましては、外国人への情報不足や支援のずれ違いなどがなく、また出身国からの援助の受け入れも含め、体制の整備に取り組んでいきたいと考えております。	無
3	8	(4)	多文化を身近にするための課題:市の交流イベントに参加して思うのは、外国の文化に興味のある方達が意外と多いことである。これら方達の協力を得て地域の祭りや防災訓練への参加を進めていったらどうか。	多文化交流イベントでは、毎回多くの日本人住民の方に参加いただき、交流を楽しんでいただいております。ご意見のとおり、多文化共生にご理解のある日本人住民の皆様には、引き続き情報提供等を行い、様々な事業へのご協力をお願いしていきたいと考えております。	無
	8	(5)	新発田で生活していく上での課題:外国に興味のある市民、住民でその国の言語・文化を学ぶ機会を作ること。日本語教室で実習生が、日本語で話のできる友達を作りたいという話を聞く。アニメなど若い人と共通する話題も多い。地域の学校でその国について理解する活動を通して若い人同士の交流の場を作ってはどうか。	ご意見いただいた件については、当市の子どもたちがグローバルな視点を養う上で、非常に効果的であると思っておりますので、今後の事業の参考にさせていただきます。	無
	9	(6)	日本語に関する課題:市の日本語教室について。新たな日本語教師の育成やその環境の支援(教材だけでなくICTの勉強の支援)を考えていただきたい。企業では大手の日本語学校のICT学習に丸投げしているようにも思われるが、やはり中心は、地域の日本語教室と思う。	当市としましても、地域の日本語教室の存在は非常に重要であると考えております。継続していくためのさまざまな課題については、いただいたご意見も参考にさせていただいた上で、引き続き市と日本語教室でご相談させていただきながら、取り組んでまいりたいと考えております。	無
	9	(7)	労働に関する課題:実習生は、労働者である反面、地域の生活者である。よって企業には、日本語学習、生活支援、特に新潟は冬雪が降るので足の確保をお願いしたい。長く仕事をしてもらうためにも生活の場の整備(買い物など)を行政と相談して進めてもらいたい。また、安全衛生も企業には責任があるので配慮をお願いしたい。もう一つ注意したいのは、国によって労働者の扱いを変えることには十分気をつけていただきたい。不要な誤解を招くことがある。	当市としましても、技能実習等で外国人の増加が見込まれる中で、受け入れ企業と連携し、外国人の生活支援等に取り組んでまいりたいと考えております。	無

No.	該当ページ	該当箇所	意見の概要	市の対応	修正
3	9	(8)	地域の担い手としての課題:地域の担い手になる話は、まずは、地域で働いて生活してもらうことが大事なので次の課題と思う。	ご意見のとおり、まずは、外国人も安心・安全に生活できるよう取り組んでいきたいと考えておりますが、外国人も地域の担い手の一人として活躍できる社会を目指し、意識醸成にも取り組んでいきたいと考えております。	無
	12	2.②	医療・保健サービスの徹底:両方とも大切な問題、外国人が気にしていることなので手厚い配慮を企業、自治体に望む。国が違えば保健・医療もかなり違うので司法書士の力を借り、例えば、無料相談会なども有効かもしれません。	当市といたしましても、ご意見いただいたとおり、医療・保健制度の周知は、外国人住民の皆様が安心して生活していただくうえで、非常に重要であると考えております。ご提案いただいた相談会等についても、検討させていただきたいと思っております。	無
	—	—	新潟県、新発田市などは、まだ、多くの外国人の受け入れ実績がない。長期の滞在、生活を前提としているので、多くの問題が生じる。手間も時間をかけ解決する必要がある。一つのトラブルが外国人の排斥につながらない様に相互理解に留意しながら多文化共生の街づくりを進めたい。	当市としましても、外国人を取り巻くさまざまな課題がある中で、人権問題等も配慮しながら、時間をかけて取り組んでいきたいと考えております。	無
4	—	—	多文化共生に反対します。 今のヨーロッパ、アメリカを見れば共生など夢の夢です。 埼玉県川口市も視察されたらどうですか。 土葬を要求するイスラム教徒。 ゴミ出し、魚介類を密漁する者、畑から野菜を盗む者も新発田で有りましたよ。 等の理由で無理です。 豊で安心安全な日本にしないと。	今後、技能実習等で外国人のさらなる増加が見込まれる中で、外国人住民を単に支援を必要とする市民としてではなく、共に生活する地域住民の一員としての視点（多文化共生）でまちづくりをすることが求められていることから、ご理解いただきませうよう、よろしくお願いたします。今後も、日本人も外国人も安心・安全に暮らせるよう、取り組んでいきたいと考えております。	無
5	—	—	海外の方々を街で見かける事が多くなってきています。 肌の色、言語の違いはありますが、皆さん真面目で日本の文化、宗教、慣習を理解しようとしてくれています。近隣の市町村とのイベント、交流会等で中身は同じ日本人になれるのではと思います。しかし、埼玉県川口市のクルド系住民や、中国への情報漏洩の問題も有り、慎重な姿勢と見極め、対策が必要と思います。 他の宗教、主義を認めない、自分の宗教、国家の為には何をしても許されるという人達も存在しますので、共生そのものは大歓迎ですが、対策対応とリスクマネジメントして下さい。	多文化共生の取組を進めていく中で、ご意見のような観点についても留意しながら、今後も、日本人も外国人も安心・安全に暮らせるよう、取り組んでいきたいと考えております。	無